

ふるさと納税で力を

市が寄付先に箕島球友会

有田 有田市は今年4月から、「ふるさと応援寄付」（ふるさと納税）で市内のNPO法人2団体を寄付先に指定できる「NPO支援補助金制度」を導入した。みなと堺グリーンひろば（堺市）で

今年20日開幕する第40回全日本クラブ野球選手権大会大阪・和歌山第1次予選に出場する「和歌山箕島球友会」もその一つ。西川忠宏監督（54）は「チームに力を貸してほしい」と呼び掛けている。

【道岡美波】

箕島球友会は、有田を率いて4度全国制覇市に拠点を置く県内唯一の社会人野球チーム。箕島高校野球部OBが中心となって1996年に創設し、同校

13年にクラブチーム日

本一に輝いた。現在、野球の普及活動と並行して、マツゲン有田球場をはじめとした地元のスポート施設の運営管理や少年野球教室、野球大会の開催などにも当たっている。NPO支援補助金制度は、市民活動の活性化が目的。もう一つの寄付先は、障害児の放課後支援などに取り組むNPO法人さくらんぼ。箕島球友会は寄せられた寄付を道員費や遠征費のほか、管理している球場の整備費な

どにも充てて地元に戻す。

NPOへの寄付者は通常の「ふるさと応援寄付」に対して贈られる記念品がない。箕島球友会が独自に謝礼用カタログを送付し、寄付者にお礼の品を選んでもらうという。クラブ野球選手権の予選を控えた西川監督は「優勝して社会人野球日本選手権に出場し、再び地元の皆さんに京セラドームへ応援に来てもらいたい」と意気込んでいる。

市ホームページからNPO支援寄付金申込書をダウンロードし、市経営企画課まちづくりに係に郵送などで申し込む。問い合わせは同課（0737・83・1111）。



少年野球教室で子どもたちに野球を教える選手たち
—和歌山箕島球友会提供